平成２９年１０月１２日
公益社団法人　大分県畜産協会

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン事業）の
補塡金単価（概算払）について
【平成２９年８月分】

平成２９年８月に販売された交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（平成28年3月25日付け27農畜機第5583号）第６の９及び附則１０の概算払の補塡金単価については、下記のとおりです。

なお、補塡金単価の確定値については、平成２９年１１月上旬に公表する予定です。

記

	肉専用種 （地域算定）	交雑種 （全国算定）	乳用種 （全国算定）
暫定補塡金単価	19,700円	81,200円	46,100円
概算払単価	15,700円	77,200円	42,100円

注１：平成２３年度第２四半期以降の補塡金について、月毎に支払う方式としています。
注２：平成２６年度より、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補塡金の概算払を行うこととしています。精算払については、四半期の最終月の補塡金交付とあわせて行います。
３：概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補塡金がないと仮定して計算した額より4,000円/頭を控除した額としています。ただし、控除した額が1,000円/頭未満の場合は概算払を行いません。
４：補塡金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補塡金単価を減額することがあります。
５：平成26年度より、消費税抜きで算定しています。
６：交雑種及び乳用種の補塡金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記ホームページで公表します。
（http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html）

連絡先
価格安定課
担当：神﨑、秋吉
電話：097-545-6594

（参考1）

平成29年8月における補塡金算定基礎(肉専用種)

【平成29年8月】

（単位：円/頭）

区　分	肉専用種
粗収益　（A）	1,117,981
生産コスト　（B）	1,142,716
差額　（C）=(A)-(B)	△ 24,735
補塡金単価　（D）=|(C)|×0.8	19,700
補塡金単価（概算払）(D)-4,000	15,700

粗収益　（A）=①＋②	1,117,981
主産物価格　①=a×b	1,107,925
枝肉市場価格（円/kg）a	2,275
枝肉重量（kg）b	487
副産物価格　②	10,056
生産コスト　（B）=⑤＋⑥＋⑦＋⑧	1,142,716
物財費　③	1,046,805
もと畜費	697,618
飼料費	282,400
流通飼料費	280,936
麦類	10,577
とうもろこし	9,487
ふすま	8,652
かす類	7,463
配合飼料（暫定値）	201,285
稲わら	24,124
その他	19,348
牧草・放牧・採草費	1,464
敷料費	11,539
光熱水料及び動力費	10,327
その他の諸材料費	182
獣医師料及び医薬品費	8,160
賃借料及び料金	4,287
物件税及び公課諸負担	4,760
建物費	11,940
自動車費	5,510
農機具費	8,463
生産管理費	1,619
労働費　④	72,673
家族	65,916
費用合計　⑤＝③＋④	1,119,478
支払利子　⑥	12,266
支払地代　⑦	413
と畜経費　⑧	10,559

注1：補塡金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

（参考２）

主産物価格及びもと畜費の算定

１　主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

【算定に用いる卸売市場】

大阪中央卸売市場、福岡市中央卸売市場、京都市中央卸売市場

２　もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

豊後豊肥家畜市場、豊後玖珠家畜市場、曽於中央家畜市場、熊本県畜産農業協同組合（熊本県家畜市場）、天草畜産農業協同組合（天草家畜市場）、小林地域家畜市場、県南家畜市場、球磨家畜市場、山口中央家畜市場